

る。そこで読者の周辺地域でSU抵抗性の疑いがあるイヌホタルイがあるという情報が入った際には、是非この検定法を試され、その結果の良否やご意見等についてご連絡いただければ幸いである。

最後に、今回の検定法確立にあたり薬剤を提供していただいたデュポン株式会社を初めとする農薬メーカー各社、および本研究の端緒を切り開き、貴重なご意見を戴いた植調研究所の高橋第1研究室長、濱村主査研究員および植調秋田試験地の鶴谷主任に、この場を借りて深くお礼申し上げます。

参考文献

1. 古原洋・今野一男・竹川昌和 1998. 北海

道岩見沢市におけるスルホニルウレア系除草剤抵抗性イヌホタルイの出現. 雑草研究43 (別) : 36-37.

2. 吉田修一・小野寺和英・添田哲男・武田良和・佐々木捷二・星信幸・渡辺寛明 1999. 宮城県におけるスルホニルウレア系除草剤抵抗性イヌホタルイの確認. 雑草研究44 (別) : 70-71.

3. 内野彰・古原洋・渡辺寛明 1999. スルホニルウレア系除草剤抵抗性イヌホタルイにおけるアセト乳酸合成酵素活性のin vivo assay. 雑草研究44 (別) : 82-83.

4. 内野彰 1999. スルホニルウレア抵抗性水田雑草の迅速検定法. 植調33 (9) : 19-25

書 評

松中昭一著 「農薬のおはなし」

日本規格協会 (TEL03-3583-8007, ¥1,300)

「農薬のおはなし」は、農薬はなぜ必要なのか、どんなものなのか、また問題点はどこにあるのかなどを、数々のエピソードをまじえてやさしく説いている。＜農薬は怖い＞と思いこんでしまう前に農薬についてもっともっと知ってもらいたい、農薬を拒否するにしろ許容するにしろそれからにしてくださいという著者の思いが伝わってくる。また、この本の底流には著者の農薬に関わるこれまでの社会的活動の経験があり、平易であるとともに論理的な説得力がある。農薬、除草剤に関わって仕事をしている私どもが他の領域、一般の人達に農薬の事を説明しようとするとき、ときに舌がもつれるといった経験をお持ちの方も多いであろう。そんな場合にこの本は農薬関係者にとってもおおいに役立つはずである。ご一読をお勧めする。

(植調協会 千坂)